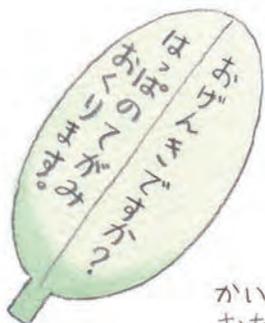


ゆか かい いな 手紙 大 作 戦

はがきや手紙は四角い形だと多くのおの人が思っている。でも丸いのはがきや三角の手紙を送ることだってできる。紙だけでなく、貝がらに字を書いたり、葉っぱの手紙も送れる。ゆうびん局の人に相談してみよう。ゆかいな手紙を書いて、友だちや先生に送ってみよう。



かいがらのおたより



がみざらのてがみ

読んでみよう

『てがみはすてきなおくりもの』

スギヤマカナヨ著 講談社 2003
978-4-06-212181-1



わたしは新聞記者

「楽しい本を読んだ」「50m、およげるようになった」「クワガタをつかまえた」…。だれでも、友だちや他の人に聞いてほしいこと、伝えたいことがある。自分のちょっとした事件を新聞にして、みんなに伝えてみよう。絵や写真をのせたり、家族や友だちにインタビューしたり、記事を書いたり、記者はいそがしい。



読んでみよう

『新聞をつくろう』

大沢和子ほか著 高橋規子絵 さ・え・ら書房 1987
978-4-378-02210-9

『どうぶつしんぶん』

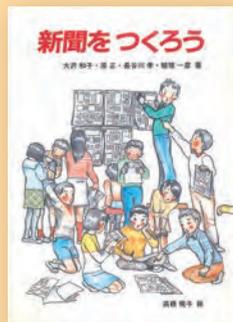
岸田衿子ほか文 堀内誠一絵 福音館書店 1988

『それいけ！新聞記者』

くさばよしみ著 多田歩実画 フレーベル館 2006
978-4-577-03170-4

『やってみよう！夏休みの自由研究 5・6年生』

p120~123 成美堂出版編集部編 成美堂出版 2009
978-4-415-30642-1



自分で漢字を作っちゃおう

漢字には、いくつかの意味が重なってできたものが多い。
 日に月をあわせると「明」るい、青をくみあわせると、青
 空におひさまがかがやく「晴」れになる。さんずいは、水
 に関係のある字が多い。くさかんむりは植物に関係のある
 字が多い。このようなポイントを押さえて、自分で新しい
 漢字を作ってみよう。



木木木 = ジャングル
 木木木

物 = ポケット

汁 = ジュース

読んでみよう

『自由研究わくわく探検大図鑑』

p278~279 小学館 2003 978-4-09-213161-3

『国語辞典』、『漢字辞典』

『漢字なりたちブック』（1~6年生）

伊東信夫著 金子都美絵 太郎次郎社エディタス 2012~13

978-4-8118-0544-3、978-4-8118-0545-0、

978-4-8118-0546-7、978-4-8118-0547-4、

978-4-8118-0548-1、978-4-8118-0549-8



目指せ芭蕉！俳句を作る

あさ お 朝起きたら、ツククサが咲いている。くもの巢に水玉が
ひか 光っている。ふうりんが遠くで鳴っている…。見たこと、
かん 感じたことを五・七・五の世界で表現してみよう。俳句は、
せ かい 世界でいちばん短い定型詩だ。ポイントをおさえれば、か
ん 簡単に作れる。外国の人も作っているよ。



読んでみよう

『短歌・俳句 季語辞典』

中村幸弘、藤井園彦監修 ポプラ社 2008
978-4-591-10088-2

『親子で楽しむこども俳句教室』

仙田洋子編著 三省堂 2011
978-4-385-36473-5

『こども俳句塾』

大高翔著 明治書院 2010
978-4-625-62412-4



名字のひみつ

あなたのクラスには、どんな名字みょうじのひとがいるだろう。近きん所の表札じょうさつを見て、たくさんみょうじの名字あつを集めてみよう。どんな漢字かんじがおお多くつか使われているか、数えてみよう。田、藤、山、木などが、なぜ多いおおのか、そのなぞをといてみよう。



読んでみよう

『人名のひみつ』『人名のひみつ Part 2』

国松俊英文 熊谷さとし絵 岩崎書店 1999、2002
978-4-265-03941-8、978-4-265-03949-4

『名字のひみつ』全4巻

森岡浩監修 フレーベル館 2012～2013
978-4-577-04081-2 (セット)

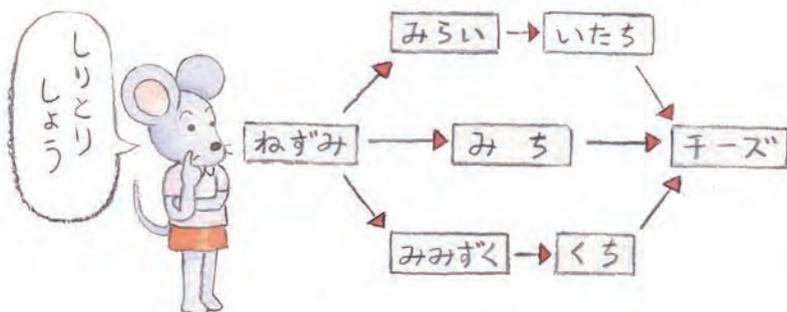
『わたしの名字はどこからきたの?』

十日市晃子著 アリス館 2000



ことばあそび辞典

昔^{むかし}から、日本人^{にほんじん}はことば^{つか}を使ってたくさん遊^{あそ}んできた。しりとりやはやくちことばは、だれでもやったことがある。「わたし^{かいぶん}ま^{うえ}け^よましたわ」は回文。上^{かみ}から読^よんでも下^{した}から読^よんでも同じ文章^{おなぶんしょう}になる。「ひとつ^{おな}ひばし^{ぶんしょう}でやいたもち、ふたつふく^{おな}ふく^{ぶんしょう}ふくれもち」はかぞえうた。「さよならさんかくまたきてしかく、しかくはとうふ、とうふはしろい、しろいはうさぎ・・・」はどんどんイメージをつなげていくうただ。ことばあそびで遊^{あそ}んだら、今^{こん}度は、新^{あたら}しいことばあそびを作^{つく}ってみよう。



読んでみよう

『ことばのこぼこ』

和田誠作・絵 瑞雲舎 1995
978-4-916016-04-1

『ことばあそび玉手箱』

石津ちひろ作 つちだのぶこ絵 小学館 2006
978-4-09-727831-3

『それほんとう?』

松岡享子文 長新太絵 福音館書店 2010
978-4-8340-2586-6

